

事業所名 社会福祉法人 小百合会 こども園にじ

支援プログラム（児童発達支援）

作成日 2025年 3月 1日

法人（事業所）理念	「地域とともに、家族とともに」 “小さいものこそ、大切に” “小さいからこそ、できる”					
支援方針	子ども一人一人の発達や個性を大切に、小集団での活動を通して社会で生活する上での基本的な力を身につけられるように支援をします。					
営業時間	10時	0分から	16時	30分まで	送迎実施の有無	なし
支援内容						
本人支援	健康・生活	・身辺自立面の自立に向けて食事・排泄・着替えや身の回りなどの支援を行います。（食事）食具の使い方・食への興味関心を広げる・アレルギー食への対応・楽しい時間など（着替え）靴や衣服の着脱・左右、前後の確認・身だしなみへの意識（排泄）場所の不安感を取り除く・自立に向けて個々の段階に応じた支援（身辺整理）準備・片付け、自分の物への意識など（衛生面）食前・排泄後・活動後などの手洗い・うがい（歯磨き）鏡や仕上げ磨きでの確認を行う				
	運動・感覚	・粗大運動：散歩や公園での遊具遊びなど、遊びを通した身体づくりや体力づくりを行います。サーキット（トランポリン・マット・トンネル・ジャンプ）や運動遊び（押す・引っ張る等）など力の加減や色々な体の使い方を体験していきます。 ・微細運動：製作活動（はさみ・のり・くれよん・ペン・鉛筆・折り紙等）を通して（切る・はる・描く・折る・通すなどの）指先の細かな動きを習得していきます。つまむ、挟む、ボタンはめなどで生活に繋がる支援も行っていきます。 ・感覚遊び（スライム・粘土・小豆・水遊び・氷遊び・砂、泥あそび）を通して色々な感覚に触れていきます。				
	認知・行動	・一日のスケジュールの視覚支援（絵カード・写真）や工程表（身支度・製作の手順、完成品）、タイマーを使った終始・予告を行い、見通しがもてる支援を行っています。 ・職員の声や合図を聞いて集まる、リトミック（リズムに合わせてゆっくり・早く・ジャンプ等）から、理解をして適切な行動に移せるよう支援を行っています。 ・朝の会の中で絵カードを通して平仮名や言葉、数字への興味、関心を広げていきます。 ・集団遊びやルールのあるゲームを通して、ルールの理解と適切な行動へと促していきます。				
	言語コミュニケーション	・絵カードを通して物の名前や用途、絵本の読み聞かせなどで言葉に触れる機会を増やし発語に繋げていきます。 ・発達に合わせた視覚的支援（指差し・ジェスチャー・絵カード・文字）を行い、受容と表出を促していきます。 ・集団活動や遊びの場面を設定し、場面にあった行動や伝え方など状況に応じたコミュニケーション方法を見本を提示し、やり取りを広げていきます。				
	人間関係社会性	・職員や友達と一緒に遊ぶ活動を通して、他者との関わり（人間関係）の形成を促していきます。 ・発達に合わせた遊びや活動の設定により、見立て遊びやごっこ遊び、ルールや役割分担のある遊びを通して社会性の発達を促していきます。 ・ルールのある遊びや勝敗のある遊びを設定し、気持ちの折り合いや切り替え、待つ、譲るなどの気持ちをコントロールする力を身につけていきます。 ・遊びややりとりを通して他者との心地よい関わりを経験するとともに、社会に適應するための必要なスキルを支援していきます。				
家族支援	・ご家族との情報共有と相談支援（連絡帳や送迎時にご家庭での様子を伺う） ・随時面談を行う	移行支援		・幼稚園や保育園、小学校等関係機関との情報連携と情報共有 ・就学時には教育委員会との情報共有を行う		
地域支援・地域連携	・幼稚園、保育園との情報連携と支援方法の情報共有 ・地域の方や同法人施設の職員、利用者さんとの関わり（ハロウィンなど）	職員の質の向上		・職員の各種勉強会や研修への参加 ・毎日の振り返りにより情報の共有と支援方法を考える		
主な行事等	・季節の行事（季節に合わせた製作・水遊び・ハロウィン・クリスマス会・書初め・節分など） ・公園・子どもの家・図書館・買い物等の近隣施設等を利用した活動 ・避難訓練（各利用曜日ごとに行う）					